明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
横浜市

4月から小学生になるお子さんをもつ保護者の皆様へ



安心して入学を迎えるために

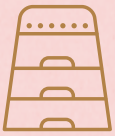




入学した後、新しい環境の中で
いろいろな発見をしたり、
分からないことに興味を持ったりしている
子どもたちの写真です。
今、子どもが好きなことや遊びに夢中になって、
周りの人と安心して一緒に育つ好奇心
（周りのことを理解したい気持ち）、
想像力、諦めない気持ちを小学校で使って学びます。











横浜市こども青少年局

入学当初の1年生の学校生活

幼児期の育ちと学びをつなぐ横浜のスタートカリキュラム

入学したばかりの時は、園の生活に近い予定や環境を作ります。職員（学校で働く人）が子どもの話をよく聞きながら、子どもたちが安心して過ごせる環境を工夫します。

また、子どもの「やってみたい」という気持ちを大切にすることで、幼児期（小学校入学前）の「遊び」で育ったことが小学校でも使われるようにしています。

登校（学校へ行く）～午前の授業

なかよしタイム

安心して学校生活を始められるように工夫された活動





すごい模様になったね

入学式

入学式をスタートカリキュラムの1日目として、工夫している学校もあります。



わくわくタイム

生活科を中心にして、いろいろな科目を組み合わせた勉強



ここは何の部屋？だれかいるから聞いてみよう



ぐんぐんタイム

教科等を中心とした学習



ドキドキしたけど、お話をしたら、友達が聞いてくれたよ！



絵を描くのってやっぱり楽しい！



いちばん大きな数を出すのはだれかな？

給食・そうじ・午後の授業・学校から帰る







ともだちと一緒に学校へ行き、一緒に帰る学校もあります。小学校に慣れるまでは、安全に気をつけて帰ることができるように、学校の職員（学校で働く人）や保護者、地域のボランティアの人が見守り活動をしています。

※「なかよしタイム」「わくわくタイム」「ぐんぐんタイム」などの呼び方は学校によって違います。※午前の授業は4校時までの学校と5校時までの学校があります。



入学したばかりの時は、新しい環境にいることで疲れて家に帰る子どももいます。子どもの様子を見ながら、話しかけてください。子どものことばや表情を受け止めながら、いろいろな話を聞いてください。例えば頑張ったことや楽しかったことなど。

子どもに関わる大人がみんなで一緒に支える

～今と未来を生きる子どもたちの育ちと学び～

横浜の教育が目指す人づくり ※「横浜教育ビジョン2030」より

「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」

自分から考えたり学んだりしながら、いろいろな人や社会と時間を過ごすことが大切です。
一人ひとりの性格やできることを生かしながら、夢や目標に取り組み、
よりよい社会や新しい価値を作ることができる人を育てます。



知識及び技能



思考力・判断力
表現力など



学びに向かう力
人間性など

小学校以降の教育
教科等を通した学び

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を目指して、
園と学校が一緒に協力します。
（「幼保小の架け橋プログラム」の実施）

子どものよさと
育ちをつなげながら、
園と学校の職員は
一緒に子どもの入学を
支えています。

5歳児～1年生
「架け橋期」
なめらかにつなげることを目指す

保育者と共有したい子どもの姿・方向性 ※「よこはま☆保育・教育宣言」より

「今と未来を生きる子どもを育みます」

①安心できる環境をつくり、一人ひとりを大切に保育します。
②子どもの育ちと学びを支える主体的な遊びを大切にします。



気付く・わかる
やってみようとする



考える
試す・工夫する



よりよい生活を
送ろうとする

乳幼児期の教育
（幼稚園・保育園・認定こども園）
遊びを通した総合的な学び



乳児期（生まれてから1歳になるまで）に育つ信頼感（人を信じたり、頼ったりする気持ち）や安心感（不安がなく、心が安らぐ気持ち）は生きている間、生きる力のもとになります。



家庭・地域

大人がみんなで一緒に大切にしていきたいこと

子どもの安心感・信頼感を育てます

やさしく話を聞いて答えることで、子どもたちが安心できる場所や信じることができる関係を作ります。うまくいかない時、不安になった時に、気持ちを受け止め、安心して戻れる場所や関係を作ります。

子ども一人ひとりを受け止めます

子どもは一人ひとり違います。目の前の子どもを理解して、ありのままを大切にして、受け止めます。

子どもが夢中になって遊び込むことによる育ちを大切にします

子どもは夢中になって遊びこむことで育っていきます。子どもがやりたいこと、夢中になれることをじっくりできるようにします。

「よこはま☆保育・教育宣言
～乳幼児の心もちを大切に～」
令和2年3月



Q 心配なことがあるときは、どこに相談すればよいですか？

A 小学校に行くときに心配なことがあったら、保育所・幼稚園・認定こども園などに相談してください。（「小学校の勉強がわかるかどうか心配」「友達関係がうまくいかない」など）保護者（お父さん、お母さんなど）といっしょに考えて、必要な場所を紹介するなどお手伝いをします。

子どもが学校に行くときに、気をつけてほしいことがあったら、通う予定の小学校に相談してください。小学校には、相談を聞いてくれる先生（児童支援専任教諭）がいます。

（横浜市のウェブサイトにエレベーターについての情報があります。）

Q 入学のために、何をしますか？

A 小学校では入学説明会が2月頃にある予定です。（就学時健康診断（入学する時に受ける健康診断）の時に、学校から日にちと時間のお知らせがあります。）入学説明会で、学校生活、登下校（学校への行き帰り）、入学に必要なもの、給食のお金や学校にはらうお金の説明があります。

区役所から届く「就学通知書」（入学のお知らせ）は、入学式の日に学校に持ってきてください。

Q 給食のことついて相談できますか？（食べ物のアレルギーがある、好き嫌いがある、食べるのが遅いなど）

A 食べ物のアレルギー（除去食など）については、就学時健康診断（入学するときに受ける健康診断）や入学説明会など、入学する前に学校に相談してください。1年生の始めは、食べる時間や量が子どもによって違います。子どもが食べることができる量、配膳（食べ物を子どもに配ること）、食べる時間、や食べ終わった後の片付け時間を考えて、給食時間を他の学年より長くとっています。

Q 小学校では読み書きはどのように学びますか？入学する前にした方がよいことはありますか？

A 学校では、読んだり書いたりする楽しさ、伝え合う楽しさを感じられるように、勉強をします。そして鉛筆の持ち方や正しい文字の書き方も学びます。年長から1年生にかけての時期は、ことばや数に興味を持ちます。ぜひ家庭で子どもに本を読んでください。園でのできごとを子どもに聞いてください。

Q 学校が終わった後（放課後）、子どもはどのようなところで過ごせますか？

横浜市の放課後児童健全育成事業について

- 横浜市では、すべての市立小学校に「放課後キッズクラブ」（キッズ）があります。「わくわく【区分1】」全ての子どもの「遊ぶところ」と「すくすく【区分2A・B】」仕事などで昼間、保護者が家にいない子どもたちのために、「遊ぶところ」と「生活するところ」をあわせた場所キッズは、3つに分かれています。どれかを選んで、安全に放課後を過ごすことができます。
- 学校ではないところに保護者や地域の人が中心になって運営している「放課後児童クラブ（学童保育）」がある地域もあります。仕事などで昼間、保護者が家にいない子どもたちが、家のような雰囲気の中で自分から宿題をしたり、本を読んだり、おやつを食べたりして安全に放課後を過ごすことができます。
- クラブの連絡先は、区役所のこども家庭支援課に聞いてください。横浜市や横浜市の区のウェブサイトで見ることもできます。



違う学年の友達と遊ぶことができます

放課後キッズクラブの様子



ある日のメニュー
ごはん、牛乳、肉じゃが、ごまじょうゆあえ、焼きのり



Q 入学後の生活などについて、もっと知りたいのですが、どうすればいいですか。

A 小学校は新しい環境ですので、入学予定の小学校の説明会などを使ってください。自分で直接に学校に連絡しても大丈夫です。

また、園と小学校が協力していること以外に、横浜市のいろいろな機関も一緒に子育ての支えをしています。

幼保小連携

幼稚園・認定こども園・保育所と小学校の繋がりについて

放課後（学校が終わった後）の居場所

放課後の子どもが過ごせる場所について

子どもの通学路交通安全対策

「こども・安全安心マップ」や学校での交通安全の取り組みについて

手続・相談

エレベーターの情報や入学手続きについてのこと

よこはま家庭教育支援

「はまっこ子育て」子どもの関わりや、相談するところについてのこと

発行 横浜市こども青少年局 保育・教育支援課 幼保小連携担当
横浜市中区本町6丁目50番地の10 TEL:045-671-3731 FAX:045-663-1925
令和6年10月発行

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。